

新潟大学理学部研修（新潟駅南キャンパスときめいと）

10月26日(土)に万代高校一学年理数コースは、新潟大学理学部地質科学プログラムの松岡篤教授から「形の科学」と題して特別講義を行っていただきました。

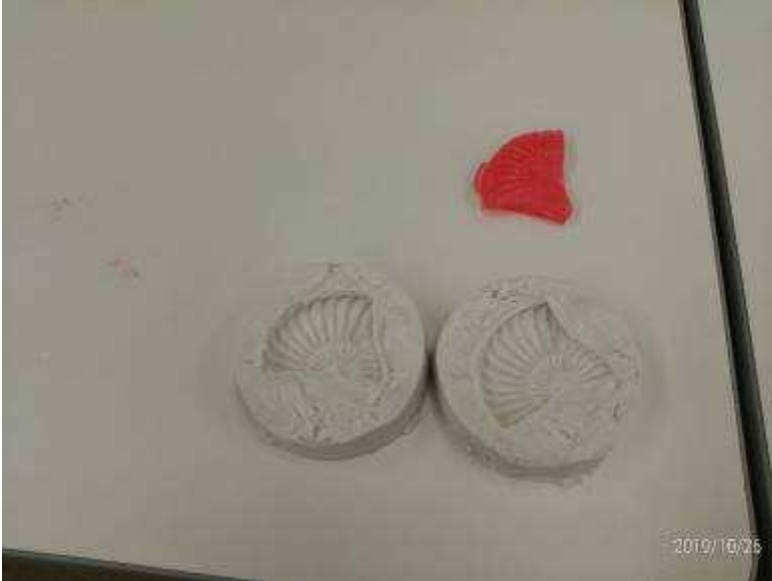
松岡先生の研究者として道を決めた、アンモナイト化石との出会いや、標準化石のレプリカを作成して持ち帰る意味など講義をいただき、アンモナイトの化石が語る情報について考えました。午後は、新潟大学の院生とのランチミーティングの後、先生の研究テーマである放散虫について学びました。放散虫のガラスで作られた骨格の分類法や、形の進化についてお話を聞きました。

世界で300人程度の研究者が化石および現生放散虫の研究をしています。放散虫は、この程度の研究者の数では足りない秘密をひめており、日本という地の利もあり、多くの研究者の参加が待たれる分野であることを学びました。

なお今回の研修は、日本学術振興会の「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムの支援を受けています。



兵庫県南あわじ市産のS字型アンモナイト・プラヴィトセラス



文責 相馬